

夏のような

冬のような

春のような何かこの季節、に

あの日言いかけた

言葉が

時間とともに消えていくことはありませんでした

沖に浮かぶ魚影のように黒々と存在しつづけています

——ええ

この海はいつも

曇り空の下にあるのでした

飽きもせず

繰り返し繰り返し

また

灰色の中に……